

第4回橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会 会議録

会議名	第4回橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会会議
日時	令和8年1月27日（火）13時30分～15時15分
場所	教育文化会館3階視聴覚室
出席者 （敬称略）	堀内 秀雄 乾 幸八 前田 陽一郎 平家 利也 田村 亜美 森田 知世子 米坂 薫 中川 多賀子 上江 恵子 小原 秀紀 今田 実 岸田 昌章 戸島 浩子 松山 泰久 東 美樹 平田 敬二 福澤 稔 向 律子 【出席委員：18名】
欠席者 （敬称略）	石田 彪我 【欠席委員：1名】
事務局	地域振興室長 前川 朋久 地域振興室主任 今山 知紀 地域振興室主査 上原 慎太郎
次第	1 開会 2 報告 （1）第3回委員会における確認事項について • 協働の基本指針の見直しについて 資料1 「第2次橋本市協働の基本指針」の策定作業について • 10周年記念誌の担当チームについて （2）自治と協働の職員研修について 資料2 自治と協働の職員研修報告書 （3）自治と協働の職員アンケートについて 資料3 自治と協働の職員アンケート結果 （4）各グループの活動状況について 資料4 情報共有グループ 資料5 市民参画グループ 資料6 協働のまちづくりグループ 3 議事 （1）令和8年度に向けたスケジュールについて 資料7-1 全体スケジュール（案） 資料7-2 提言書提出までの後期スケジュール （2）その他 4 閉会

1 開会

- 委員19名中18名出席により、委員会が成立していることを報告。
- 傍聴者なし。
- 議事録署名人は田村亜美委員、森田知世子委員。

2 報告

(1) 第3回委員会における確認事項について（事務局より説明）

① 協働の基本指針の見直しについて

- 前回委員会において、策定期間や工程を示してほしいとの意見から作成した。
- 市民活動団体との意見交換会は、庁内検討委員会の委員からの推薦や市民活動サポートセンターからの紹介を考えている。

○ 委員意見

- 庁内検討委員会のメンバーは何名で、役職はどのような方が参加しているのか。
 - メンバーは事務局4名を含めて20名で、自主防災組織を所管する危機管理室等、日頃から協働に関りの深い部署から選出している。役職は主査級から補佐級まで幅広い体制となっている。
- 資料で西暦と和暦が混同しているので、統一するか併記したら良いのではないかと。

○ 委員長意見

- 委員の部署や役職、年齢層の前回との比較資料は準備しておいてもらいたい。

② 10周年記念誌の担当チームについて

- 前回委員会においてチームメンバーは正副委員長及び正副グループ長の9名で承認いただいた。私も参加したいという方は連絡してほしい。
- 予算は297,000円でチーム協議を進めながら、他市町村の事例を参考に進めたい。

○ 委員長意見

- 予算額が低く感じるが、事前見積もりは取っているのか。また参考にした自治体はあるのか。
 - 事前見積もりは取っている。滋賀県高島市をはじめいくつかの自治体を参考にページ数を決めている。
- 行政発行にはなるが、堅苦しくなく、様々な年齢層に見てもらえるよう、良いアイデアがあればメンバーでなくても教えてほしい。

(2) 自治と協働の職員研修について（事務局より説明）

- 11月25日に実施した職員研修について、P8の「研修後アンケート結果」から内容を抜粋して事務局より説明した。

○ 委員意見

- 高島市の講師の講話資料は提供してもらえるのか。
 - 部外秘扱いになるが、提供することに関して許可を得ている。

- とても悪いと評価している方がいる点について事務局はどう考えているか。
 - 回答した職員に掘り下げて意見を伺うことを検討している。
 - 提案や改善方法を記載しているのであれば掘り下げればよいと思うが、今回の場合はそこまでしなくてよいのではないかと。→聞き取りまではしないで承認。
- その他（東委員より職員研修の事後反省会の内容の共有）
 - 【良かった点】
 - 副読本の作成等、他自治体の具体的な事例がありワークショップがやり易かった。
 - こども達に協働のPR動画を作ってもらい活用してはという職員からの提案について、提案の実現に向けてはぐくむ委員で積極的に取り組みたい。
 - 若手職員の熱意と積極的な議論が見られ、研修そのものが協働実践になっていた。
 - 【反省点】
 - 午後の職員の欠席が目立った。
 - 委員長挨拶と趣旨説明が重複してしまい、説明の意義に不安があった。
 - こどもパンフなど橋本市の取り組みも事前に参加者へ共有していれば、ワークショップに反映できた。
- (3) 自治と協働の職員アンケートについて（事務局より説明）
 - 昨年と比較して、はぐくむ条例を「聞いたことがある」が約4%、協働の基本指針を「聞いたことがある」が約6%上昇している。新規採用職員の研修で説明を行っていることが影響していると考えている。
 - 業務、業務外での協働実績についても「ある」がそれぞれ約3%上昇している。
 - P3以降の自由記述部分は事務局より何点かを抜粋して説明。
- 委員長意見
 - P3の業務における協働事例は、事業名称と担当課を全て記載してもいいのでは。
 - 例年伝えているが、前回と比較しての特徴・進捗・課題・提案・特筆すべき意見などのまとめを作成すること。
 - 大変だから止めようとなると資料が1つなくなる。継続して活かすことが大事。
- 委員意見
 - アンケート回答率を100%にすることはできないのか。消防は100%になっている。
 - 依頼後に部長を通じてのリマインドも行っているが、100%には至っていない。なぜ回答できなかったかは調査していない。消防は連絡体制が他課よりも徹底されている組織的な要因が考えられる。
 - 市民への発信の前に行政の数字を上げる必要があるのでは。
 - アンケートの回答について、自分の会社では回答率の途中経過を伝えたり、集計者側から未回答者へ促したりと個人任せにしない対応を行っている。
 - 今回は調査ではなくアンケートであるため必ずしも回答率を100%にする必要はないと思う。回答率も含めて、職員が協働に関心があるかどうかの指針となる。

- 勤続年数の短い層の回答率が高いという意見があるが、今回のデータは勤続年数ごとの回答率を表したものでないため、具体的な傾向を読み取ることはできない。
 - 前年度の回答率と比較できるように記載してもらえるとありがたい。
 - ハシモのボランティアポイントの動向を見れば、はぐくむ委員会が行っている協働推進の評価に繋がるのではないか。
- まとめ
- 事務局で出た意見を参考に今後のアンケート調査のまとめ方を検討する。
 - 委員会としては調査結果を活用していくという視点で今後検討を進める。
- (4) 各グループの活動状況について（各グループ長より資料をもとに説明）
- 【情報共有グループ】
- はぐくむ新聞（A4）の不定期作成を検討中。
 - 本委員会終了後にグループで来年度広報の特集について話し合う予定。
- 委員長意見
- これまでに会議はどの程度実施しているのか。
 - 新聞の作成にかかるやり取りをLINEグループで2、3回程度行っている。集まっ
ての会議はできていない。
- 【市民参画グループ】
- まなびの日のボランティア増員のため、委員経験者へ声掛けを行った。
 - こどもパンフは城山小学校で授業を実施し、その内容を校長会で報告した。今後は各校からの授業依頼を受けられるよう基本資料の作成に取り組み、追加で依頼元の小学校に合わせた資料を準備したいと考えている。
- 委員長意見
- 授業の実施に関しては教育長もサポート頂いたのか。
 - 教育委員会としては、城山小学校での話を伺って校長会でも紹介してもらった。
今後は準備面でサポートしていければと思う。
 - 授業を受けたこども達の反応はどうだったか。
 - 2クラス40名で大人数かと思ったが、質問がある人と聞く前に手を上げてくれたり、話もしっかり聞いて、興味をもってパンフレットを見てくれていた。
- 【協働のまちづくりグループ】
- 第1回は正副リーダーの選出と、地域運営組織規則や協働のまちづくりパンフなどを参考に協議した。
 - 第2回は以下の点について協議・確認した。
 - ①地域運営組織の要件や課題・現状からその広げかたの協議。
 - ②協働の基本指針の見直しは、市の中間報告を受けて意見交換の形で参画し、委員会への報告につなげることの確認。
 - ③その他まちづくりパンフや他グループとの情報交換等について協議。

- 第3回は地域運営組織の方向づけについて意見交換し、取り組み方を検討した。
- 委員長意見
 - 第3期の提言書でまとめと第4期にやるべきことが書かれているので、そこをしっかりと守ったうえでプラスαに取り組みましょう。
 - 地域運営組織検討懇話会の情報も含めて意見交換していきましょう。

3 議事

(1) 令和8年度に向けたスケジュールについて（事務局より説明）

- 前年度と比較して前倒しにしている部分や会議の回数などについて、資料をもとに事務局から説明。

○ 委員長意見

- これだけ活動的に努力している委員会は他にない。橋本愛という言葉に表れるように市民の力も活かして橋本を良くしていこうという点は行政も一緒。良いイベントは伸ばしていけばよい。

○ 委員意見

- 正副G長会議などは可能な限りまとめて開催してほしい。
- 10周年記念誌のひな型を事務局から提示してほしい。
- 10周年記念誌では取り組みのアウトプットに力を入れるのが重要ではないか。
- 市長が変わる可能性があるが、予算は問題ないのか。
 - はぐくむ委員会の事業は継続できるよう引き継いで予算をつけていく。

(2) その他

- 市のデータの中で10代・20代の橋本市に対する愛着を感じる割合がここ数年で伸びている。市内全体で協働に取り組んでいることの表れではないかと嬉しく思う。
- 報道関係の方からもインタビューの中で、様々な人に支えられ育ってきたと答える若者が増えているのを実感しているとの声を頂いた。
- 橋っ子祭りでは学生実行委員がLINEでの会議など工夫を凝らして参画している。

○ 委員長意見

- 地域の取り組みなど様々な協働事例を拾い上げ1つにまとめていく作業も、協働を知ってもらうチャンスになる。DXやAIを活かして都市部や他地域へ発信できるようにすればよいのではないか。

4 閉会

【会議録署名欄】

委員長

堀内秀雄

【会議録署名欄】

委員 森田 知世子

【会議録署名欄】

委員

田村 亜美
